

第11回日本言語聴覚士協会総会・日本言語聴覚学会のご案内

テーマ 言語聴覚療法の展開

平成22年6月26日(土)・27日(日)に、さいたま市大宮ソニックシティにおきまして第11回日本言語聴覚学会を開催させていただきます。大宮ソニックシティは第4回、および第6回の学会も開催された本学会に縁の深い地です。

言語聴覚士が業務を行う領域は幅広く、またさまざまな制度の変化に伴い、その範囲は変化を続けています。一方で、まだまだ言語聴覚士について、あるいはその業務について十分に知られているとは言えない現状があります。言語聴覚士ひとりひとりが、どこまで、何ができるかということを自ら確認したうえで、周囲への情報発信、広報活動を行うことが重要です。

そのようなことから、会員の研鑽の場という学会本来の目的に加え、言語聴覚士が実施可能な業務内容の広がりについて確認し、また新しい医学的進歩の中での言語聴覚療法の可能性を探るという思いを込めて、本学会のテーマを「言語聴覚療法の展開」といたしました。このテーマの下で、特別講演として最新の脳外科的な知見を踏まえ言語聴覚療法でどのようなことが可能となるのか、ご講演をいただきます。シンポジウムは3つを企画いたしました。1つは医療において、1つは言語聴覚士養成教育において、1つは特別支援教育において、という3つの領域において、どのような方向性で言語聴覚療法の展開を考えていくべきなのか、ディスカッションをしたいと考えております。この他にも多くの皆様においていただけるような企画を検討中です。

想い出の地、大宮で多くの会員の皆様のおいでをお待ちしております。よろしくお願い申し上げます。

会 期：平成22年6月26日(土)・27日(日)

会 場：大宮ソニックシティ(さいたま市)

会 長：立石雅子(目白大学保健医療学部言語聴覚学科)

ホームページ：<http://square.umin.ac.jp/jasht11/>

参加費：会員・会友：10,000円/学生：5,000円/会員外：13,000円

*当日受付にて参加費納入のうえ、名札(参加証、領収書兼)をお受け取り下さい。

なお、この参加証は生涯学習プログラム修了証の申請に必要となりますので、ご自身で保管をお願いします。

*学生参加者は学生証をご提示ください。

【プログラム】

特別講演：最新の脳外科的知見と言語聴覚療法

板倉 徹(和歌山県立医科大学脳神経外科)

シンポジウムⅠ：医療における言語聴覚療法の展開

—— かかりつけ言語聴覚士の浸透をめざして

司会：都筑澄夫(目白大学)

シンポジスト：真鍋敏毅(真鍋耳鼻咽喉科医院)

森 英二(医療法人社団涓泉会山王リハビリ・クリニック)

加藤康子(かとう小児科)

(裏につづく)

シンポジウムⅡ：言語聴覚士養成教育の質の向上をめざして

司会：内山千鶴子(目白大学)

シンポジスト：藤田郁代(国際医療福祉大学)

小山真理子(神奈川県立保健福祉大学)

大西弘高(東京大学医学教育国際協力研究センター)

三浦真琴(関西大学教育開発支援センター)

シンポジウムⅢ：特別支援教育における言語聴覚士の役割

—「いま」から「みらい」へ

司会：斎藤佐和(目白大学)

シンポジスト：岡崎 宏(日本言語聴覚士協会職能部)

渡邊裕貴(印西市立子ども発達センター)

中田 誠(栃木県教育委員会)

日詰正文(厚生労働省)

文部科学省特別支援教育課担当官

〈その他〉

ランチョンセミナー

摂食・嚥下，言語発達，聴覚障害，失語・高次脳機能障害関連で4セッションを予定

生涯学習講座

基礎講座：「研究法序論」「協会の機構と役割」

専門講座：「臨床実習」

学生セミナー

【事務局】

〒339-8501 埼玉県さいたま市岩槻区浮谷 320

目白大学保健医療学部言語聴覚学科 内

事務局長：春原のりこ

Tel：048-797-2131 Fax：048-797-2138

e-mail：jaslht2010-office@umin.ac.jp